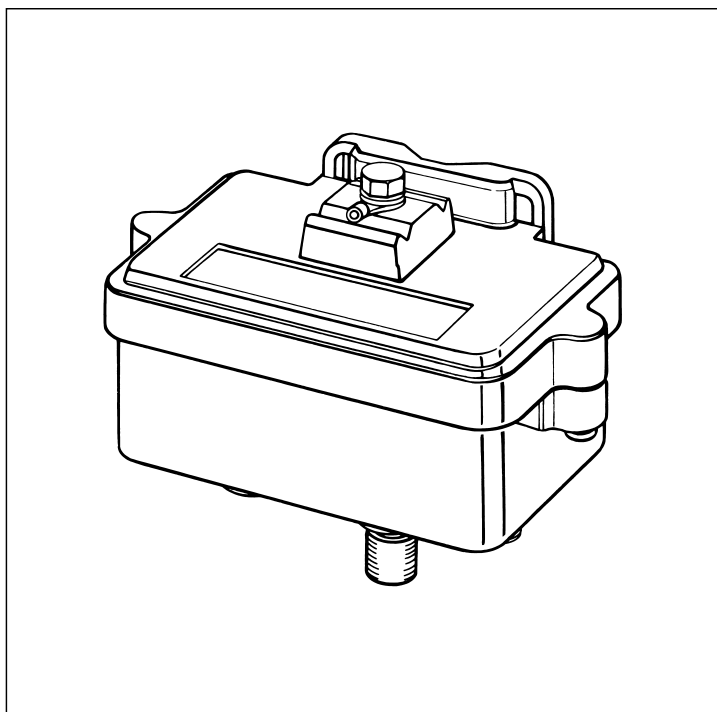


取扱説明書

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書と別冊の取扱説明書（安全上のご注意）をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

UHF 全帯域低雑音前置増幅器 CAU-3S 〈NHK形名 NH-BSTU〉



●特長

- 高規格トランジスタ採用による低雑音設計。
- 本体内部の利得調整ボリューム操作で細かいレベル調整が可能。
- 心線挿入部にバージン方式防水機構を採用し、より充実した耐水性。
- 強固なアルミダイカストハウジングで、すぐれた耐久性。
- 出力モニタ端子（-20dB）を設け、調整・点検が簡単。
- カセット方式で保守・点検が容易。
- 小形・軽量で設置場所を選ばず、取扱いが簡単。

●規格特性

周波数帯域 (MHz)	470～770	相互変調 (dB)	-55以下 CW終端値
標準利得 (dB)	23～27	混変調 (dB)	-46以下(定格出力時) CW終端値
利得調整範囲 (dB)	0～-10	不要放射 (dBμV/m)	34以下
標準出力レベル (dBμV)	80 7波終端同期先頭値	衝撃波試験	入・出力端子±24kV (1.2/50μs)
標準入力レベル (dBμV)	35～55	使用温度範囲 (℃)	-20～+40
利得安定度 (dB)	±2以内	電源 (V)	AC20～30 (50/60Hz)
帯域内周波数特性 (dB)	任意の30MHzで±1以内	消費電力 (VA)	4.6
入出力 VSWR	2.0以下	接栓容量 (A)	1以下
雑音指数 (dB)	2.2以下	外形寸法 (mm)	71 (H) × 134 (W) × 81.5 (D)
ハム変調 (dB)	-60以下 CW終端値	質量 (kg)	0.41

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図のなかに具体的な指示内容(左図の場合は注意して行なってください)が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された電源電圧(交流20～30ボルト)以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



- この製品の本体を直径1.6ミリメートルの銅線で接地してください。接地しないと避雷や保護接地の効果がなくなり、被雷して火災や故障の原因となります。



- 高所に設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 風の強い日や、雨、雪、雷などの天候の悪い日は、危険ですから設置工事や点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災・感電の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、電流が流れることがありますので、製品と接栓の接続および接栓と同軸ケーブルの接続で、心線と外部導体がショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。



- この製品内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。雨天での設置工事や点検・調整で蓋を開けないでください。火災・感電の原因となります。



- この製品を設置・点検・調整した後は、正しく蓋を閉めてください。
水が入ったりして、火災・感電の原因となります。



- 万一内部に水が入った場合は、まずこの製品に給電している電源を切り、水をよく拭き取ってから、電源を供給してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品を分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに製品に供給している電源を切り、煙がでなくなるのを確認してCATV施設の管理者もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- 取り付けネジ、ボルトや接栓は、堅固に取り付け固定してください。
落ちたり、破損したりして、感電、けがや故障の原因となります。



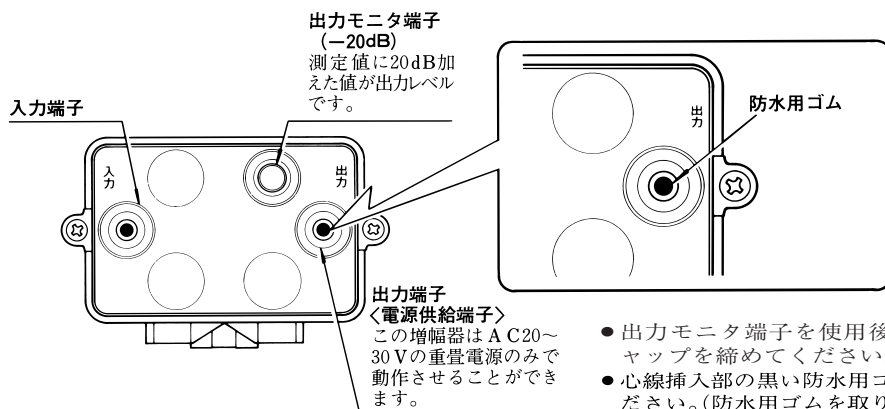
- この製品や部品や工具類を高い所から落とさないでください。
けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品にはふれないでください。
感電の原因となります。



ターミナルの名称と説明

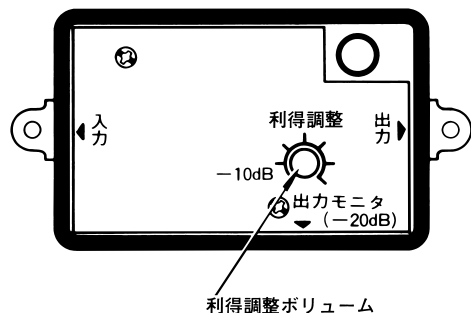


※この製品にはAC100V電源を直接接続したり入力側から重畳電源を供給することはできませんのでご注意ください。

- 出力モニタ端子を使用後はしっかりとモニタキャップを締めてください。
- 心線挿入部の黒い防水用ゴムは絶対に取らないでください。(防水用ゴムを取りますと防水効果は薄れます。)
- 接栓を接続する際、防水用ゴムの中央に直接心線部を突き刺して接続してください。防水用ゴムが心線部に密着し、入水を防ぎます。
- 付属の防水キャップは接栓座の根元までさし込み、ビニルテープで完全に防水を行なってください。

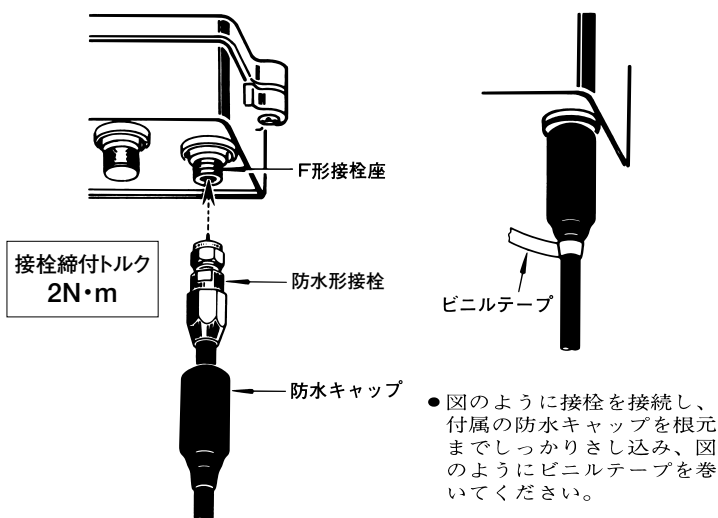
利得調整ボリュームの操作方法

※利得調整ボリュームは本体内に内蔵されています。



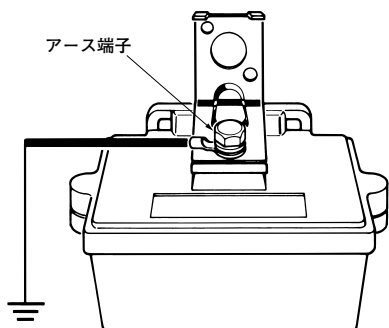
- 出力モニタ端子にレベルチェッカを接続し所定の出力レベルが得られるよう調整します。
- 調整ボリュームは左いっぱいまで-10dBまで連続可変できます。

接栓の接続および防水方法



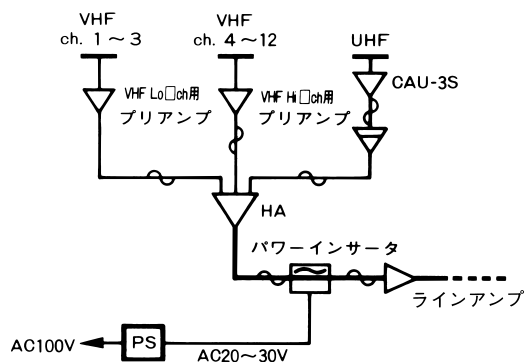
- 図のように接栓を接続し、付属の防水キャップを根元までしっかりさし込み、図のようにビニルテープを巻いてください。

アースについて



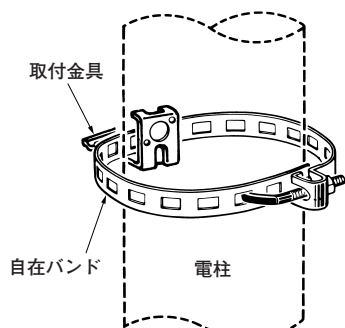
- 図のように増幅器本体をφ1.6mmの銅線でアースしてください。

システム使用例



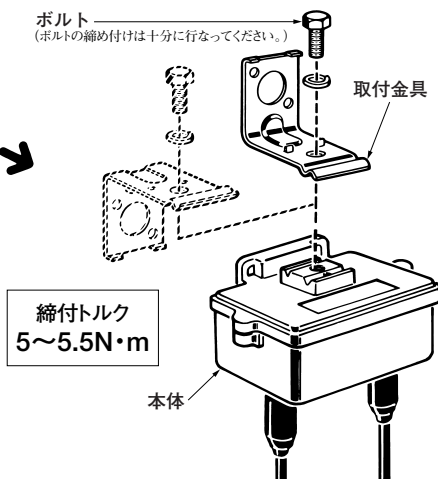
取 付 方 法

＜電柱への取付＞



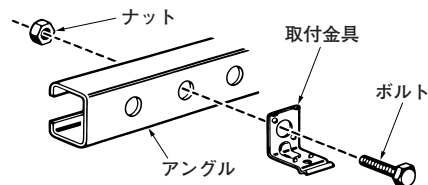
- 図のように取付金具を自在バンドで取付け、ユニットを取付けてください。
(自在バンドは別売となっております)

＜本体への金具の取付＞



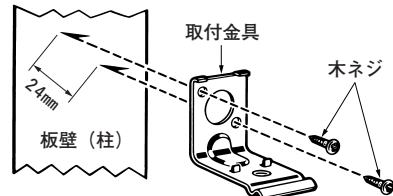
※図のようにユニットの取付場所に応じて金具は2種類の取付け方ができます。

＜アングルへの取付＞



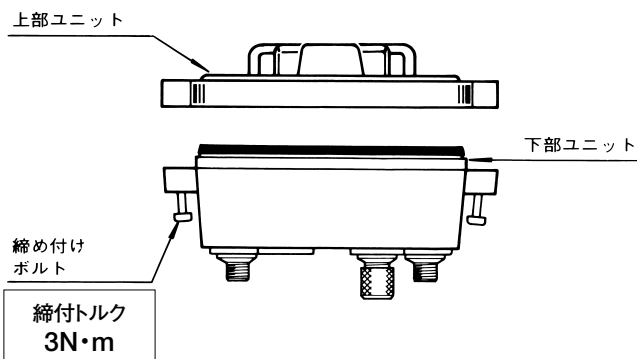
- 取付金具を図のようにボルト・ナットで取付け、ユニットを取付けてください。
(ボルトナットは別売となっております)

＜板壁への取付＞



- 図のように取付金具を木ネジで固定し、ユニットを取付けてください。
(木ネジは別売となっております)

保守・点検について



- 図のようにこの製品は分離タイプになっておりますので、保守・点検が容易にできます。
 - 左右の締め付けボルトをゆるめると、上下のユニットは簡単に離れます。
 - 取付ける場合、締め付けボルトは防水のために指定のトルク値にて締め付けてください。
- ※なお、保守・点検の際には、必ず電源を切ってから行なってください。

使用上のご注意

- この製品の入力電圧はAC20～30Vとなっておりますので必ずこの範囲内でご使用ください。また電源を入力側から供給することはできませんのでご注意ください。
- この製品の入力レベルは35～55dB μ Vの範囲内でご使用ください。
- 万一の場合のほかに上下のユニットは取りはずさないでください。交換や修理で取りはずした場合はもとのように締め付けボルトでしっかりと締め付けて固定してください。
- モニタ端子には防水用キャップが付いていますから、モニタ使用後はキャップを完全にもと通り締め付けてください。
- 増幅器本体を ϕ 1.6mmの銅線でアースしてください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・柏出張所 TEL.(04)7192-1681(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)			(2008年3月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
 カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
 ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>